

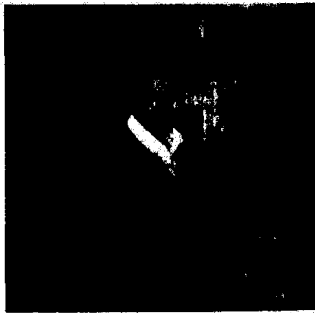
家庭の主婦から特級代理店主に

有限会社 あいる 代表取締役 杉岡 治子さん

「ハイ、これがあなたの名刺です。これを持ってお客様のまのこを訪問していただきます」「お客さまって、一体どこにいるのですか。私は何を「すてばいいのですか」。それまで子育てだけに専念していた一人の主婦が戸惑いながら、この業界に入ってきた。まったく右も左も分からないが、「置かれたなかで最善の策を考えていこう」という前向きな姿勢で歩き続けてきた。セロからスタートした代理店も特級代理店にまで成長。今、次代を託す後継者作りに思いをかける杉岡治子さん(有限会社あいる代表)に二十四年間を語ってもらった。

思わぬ人生の転機 夫の急死で働くことに

大阪・堺市で自営業を営む家庭の主婦として子育てに専念、穏やかな日々を送っていた杉岡さんだが、ご主人の急死によりそんな生活は一変した。当時、中学三年と小学校五年生の子とご主人を抱えていたうえ、ご主人の仕事をしていたが、何の仕事をしていかなかった。お金の心配もなかった。ご主人の同級生が保険の代理店をやっており、「それなら」ということで、



杉岡治子さん

「ハイ、これがあなたの名刺です。これを持ってお客様のまのこを訪問していただきます」「お客さまって、一体どこにいるのですか。私は何を「すてばいいのですか」。それまで子育てだけに専念していた一人の主婦が戸惑いながら、この業界に入ってきた。まったく右も左も分からないが、「置かれたなかで最善の策を考えていこう」という前向きな姿勢で歩き続けてきた。セロからスタートした代理店も特級代理店にまで成長。今、次代を託す後継者作りに思いをかける杉岡治子さん(有限会社あいる代表)に二十四年間を語ってもらった。

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

お客さまのリスクを敏感に把握

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

課題は後継者づくり 生保にも新たなスタンスでチャレンジ

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。

代理店登場



スタッフの皆さんとともに

「夫の急死で働くことに」
夫の急死により、ご主人の仕事を継ぐことになった杉岡さん。最初は「夫の仕事を継ぐ」ということで、夫の同級生が保険の代理店をやっていることに気づいた。